

秀でた一芸を披露

長島町小・中学校 音楽発表会

11月6日、町文化ホールで第8回長島町小・中学校音楽発表会がありました。

発表会には、町内14の小・中学校から児童・生徒600人が参加し、各学校ごとに合唱や合奏などを披露しました。

各校とも練習の成果を發揮し、観賞に訪れた保護者らから拍手喝采を浴びていました。

午後の部に出演した本浦小学校は、パートごとに野菜の名前を叫び続ける「野菜の気持ち」というヴォイス・リズムを披露。合唱とも異なる不思議なリズムに、観客席からは時折笑い声も聞こえるほどユーモラスな演目で観客を魅了しました。

閉会式直前には、各学校の教職員らによるリコーダー三重奏のサプライズ演奏もあり、児童・生徒らが聴き入りました。

霧島国際音楽ホールで企画主幹兼舞台監督を務める瀬戸口浩氏は「素敵な時間を過ごさせてもらった。楽しかった。もつと練習して、自分たちの演奏に引き寄せる音楽を作ってください」と講評しました。



↑演奏中、パフォーマンスを見せる鷹巣小学校



↑絶妙なリズムの本浦小学校のヴォイス・リズム

長島町総合文化祭

11月9日と10日には、同ホールとB&G体育館で、第8回長島町総合文化祭がありました。

9日の前夜祭では、ホール内の舞台で、町内のバレエや日本舞踊、ダンスなどの団体が多数出演し、卓越した芸を披露しました。

翌10日には、川添健町長が「文化ホールは改修工事を行い、県内でも有数の施設・設備が整った。今後も大いに活用して、長島の文化を楽しんでほしい」とあいさつしました。

この日は「第15回ながしま造形美術展」の表彰式なども行われ、入賞した各種団体の代表者らが受賞しました。

式の後、前夜祭に引き続きフラダンスや合唱などの演目が披露されました。

体育館では、盆栽や陶芸、書道などの非芸能部門の作品が展示され、来場者らが観賞に訪れました。

クロス刺しゅうを展示した岩下美保子さん（汐見集落）は「作品は数年かけて製作する。細かい作業で、途中で何度も投げ出したくなるが、出来上がった時の喜びはひとしおで、言葉にできない」と苦労した作品への思いを話しました。



←ロビー前に飾られた鉢植え



↑獅子島幼稚園児による踊り



→作品に見入る来場者